

ヒロイン敗北



BLACK GIRL 2
ブラックガール



ヒーロー



随分と

人の姿で
好き勝手
ヤツてくれてる
じゃない

ああ

とても
気に入っているよ
ククッ

不愉快よ

…良いのか？



あの時よりも
更に強くなっ
て
いるぞ

私は――





では

始めようか





—あまり

見くびって
もらっては
困る





私という
生命体には
決まった
姿・形は無い

ゆえ
故に

どんなモノにも
擬態可能だ

ガッガッ

クククッ

そういえば
前回も
腹を責めたな

ガッガッ

ガッ

おえ

ガッ



「見くびるな」と
言ったのは
貴様であろう？









ム
グ
ッ





うえ…



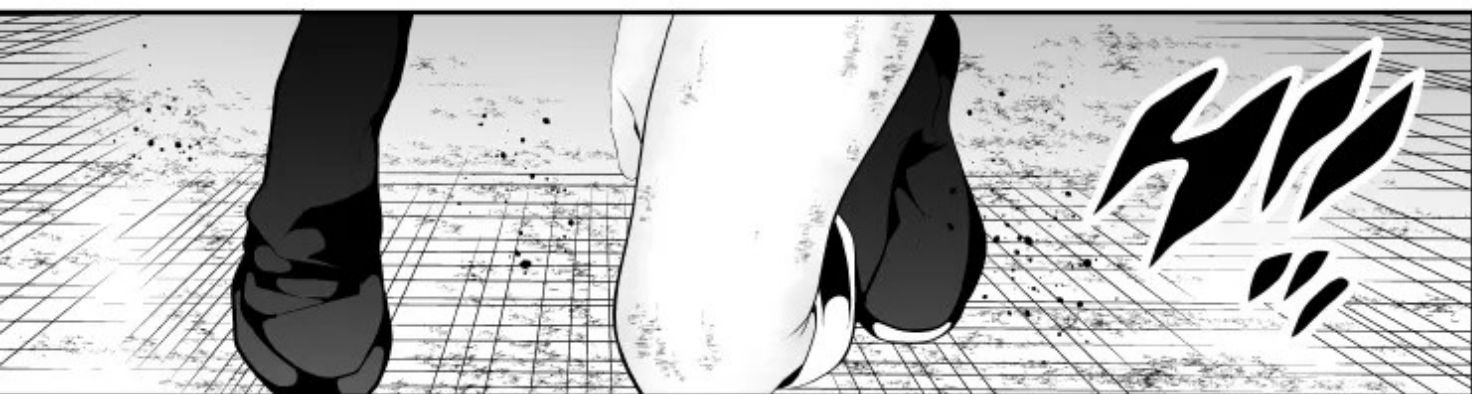
あが…















クハハハッ！

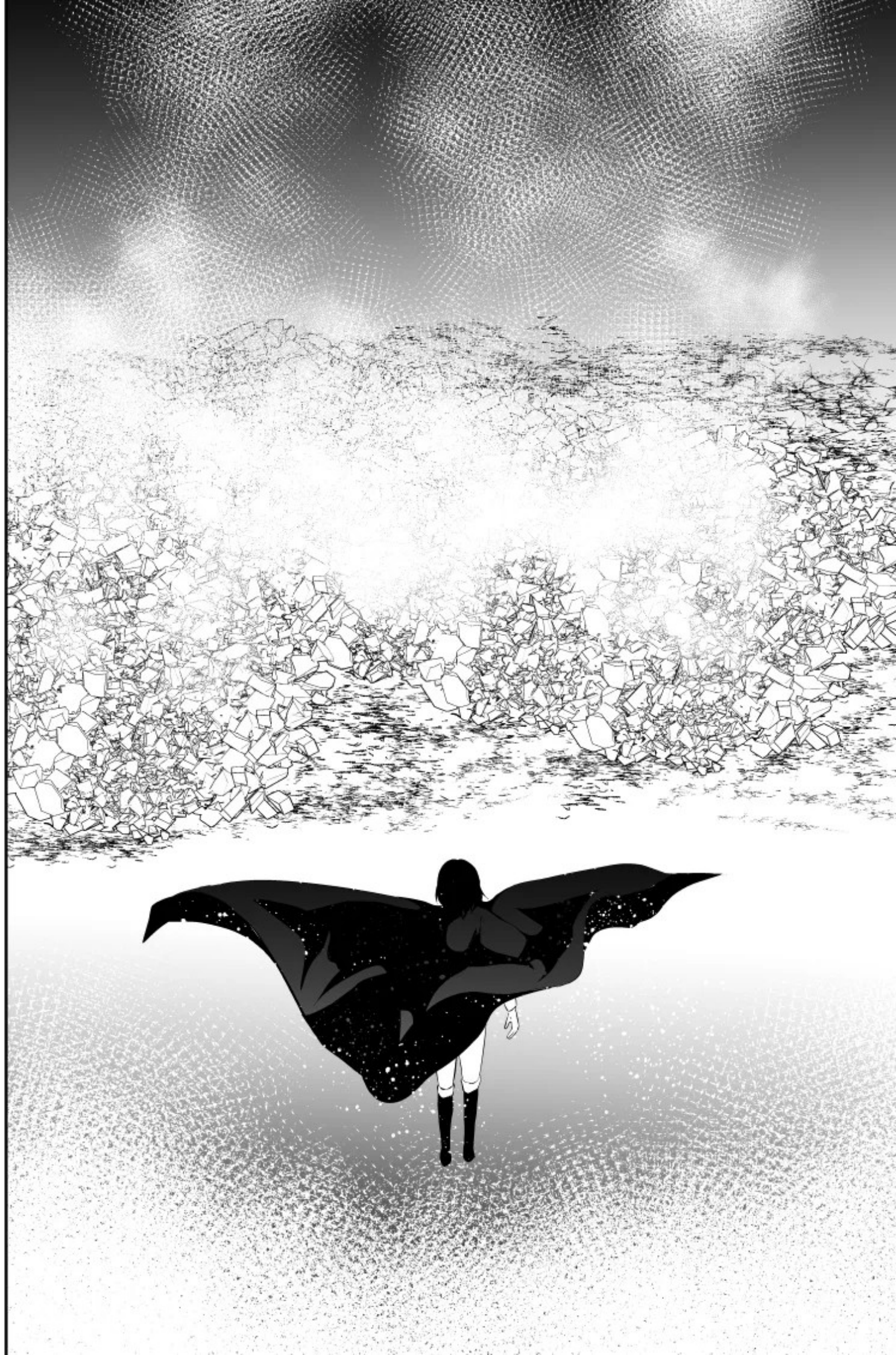
いいだろう
見せてやる

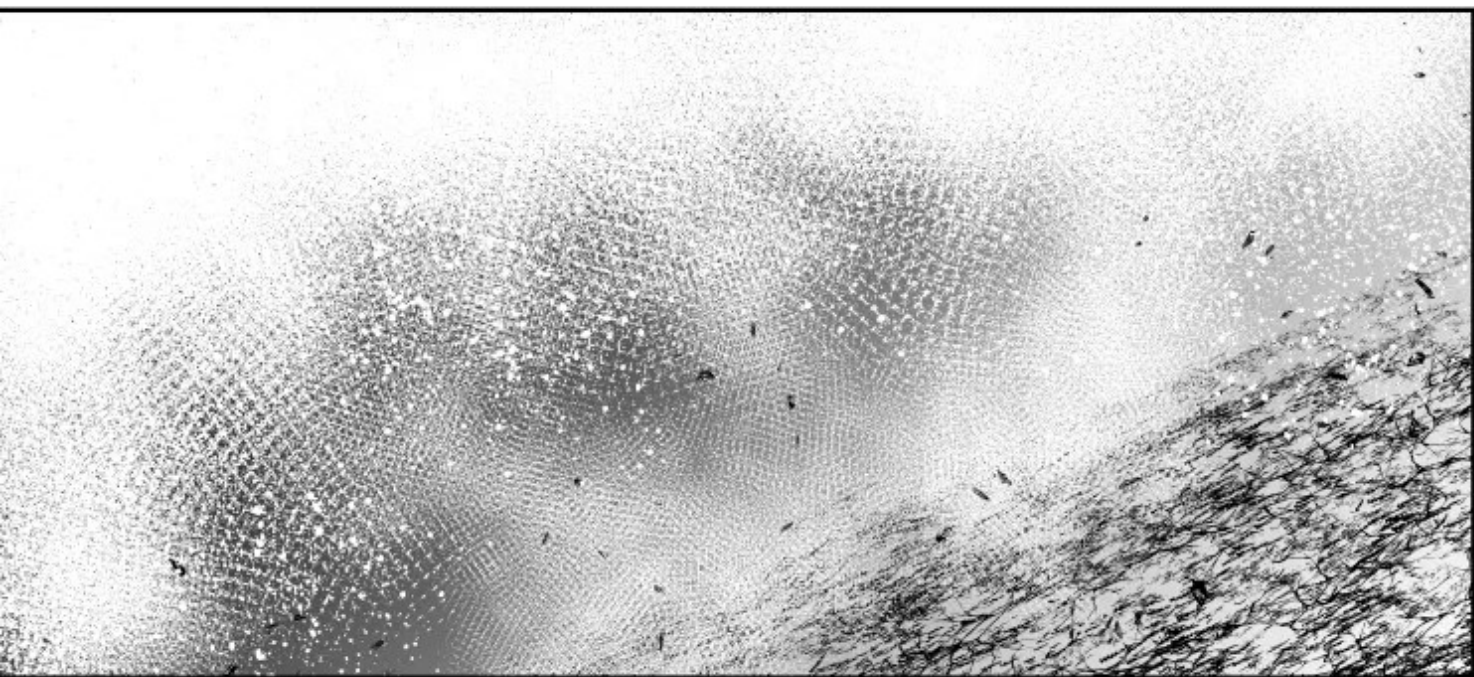
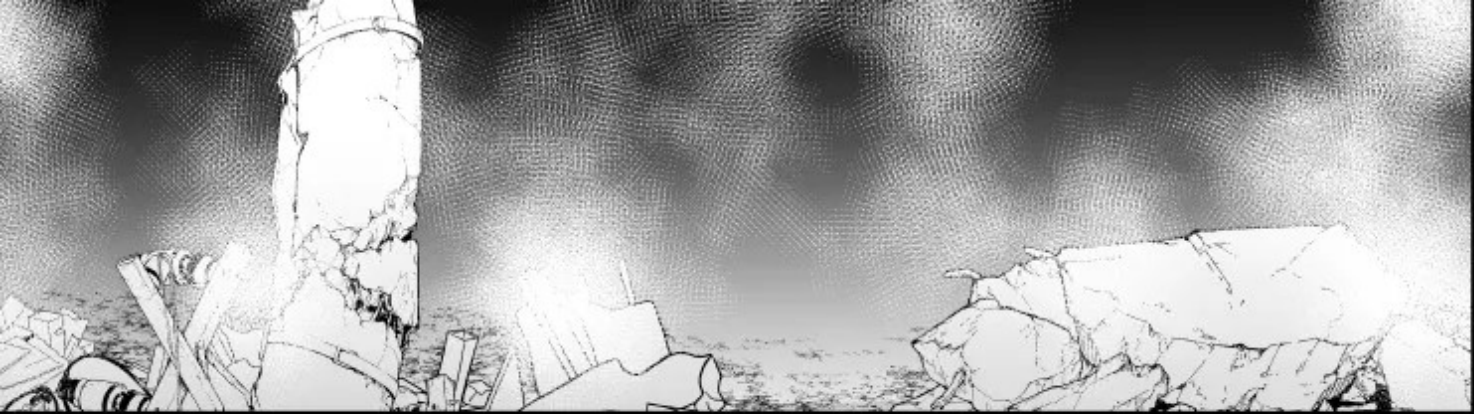
貴様の
チカラなど

とうに
超えている
ことを！











さすがに
頑丈だな



か・はっ

……
あ



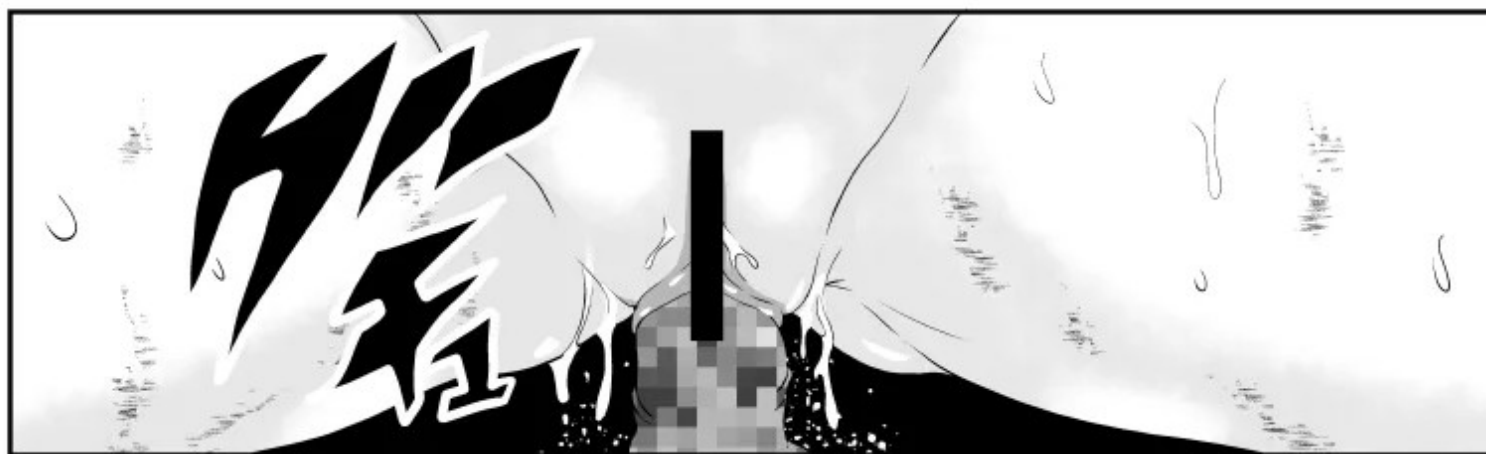




ここまでだ









おこえ!!

おこえ!!

おこえ!!







ガッガッガッガッ

アアアアア

アッ









ハハハハハハッ



ご購入
ありがとうございます



※この物語はフィクションです。
実在の人物・事件などにはいっさい関係ありません。
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。
尚18歳未満の閲覧 購買は禁止です。

サークル Aries